



公益財団法人栃木県国際交流協会 (TIA)
Tochigi International Association
〒320-0033 宇都宮市本町 9-14 とちぎ国際交流センター内
TEL 028-621-0777 FAX 028-621-0951
E-mail tia@tia21.or.jp URL http://tia21.or.jp

やあ! クローズアップ

TIA やさしい日本語の取り組み
とちぎに暮らして
ミカエル・カクゾー氏(フランス)

JICA 情報局

JICA 教師海外研修報告会



TIAは「やさしい日本語」の
普及を促進しています。



▲ゲームをしながら「やさしい日本語」でコミュニケーションする参加者

みんなで「やさしい日本語」！ワークショップ

日本語があまり得意でない外国人とのコミュニケーションに役立つ「やさしい日本語*」を体験するワークショップを12月2日(土)に那須塩原市・東那須野公民館で、12月9日(土)に栃木市・栃木市民会館で、それぞれの市と市国際交流協会にご協力いただき、また最終日の12月16日(土)は宇都宮市にあるとちぎ国際交流センターで実施しました。参加者は、県内外からネパール、フィリピン、ブラジルなど13か国の外国人と日本人で、3会場併せて120名以上が「やさしい日本語」を用いた交流を体験しました。

講師は、一橋大学国際教育センター准教授の柳田直美氏。まず、日本人参加者にむけて、外国人に伝わりやすくなる工夫について講義を行い、その後のワークショップでは、日本人と外国人混合のグループに分かれて、「やさしい日本語」で話すコミュニケーションゲームを行いました。ゲームでは答えを見つけるために、参加者同士で質問をしたり、話し合います。全て日本語で行うルールなので、相手に伝わるためにはどんな表現を使えばいいか、いろいろな言い方にチャレンジしながら楽しい時間を過ごすことができました。

参加者からは、「ちょっとした工夫で外国人とコミュニケーションができ驚いた」、「日本人がよく聞いてくれるから、安心してたくさん話せた」などの感想をいただきました。

(「やさしい日本語*」については、本紙2ページをご覧ください)



「やさしい日本語」とは、日本語が得意でない外国人に伝わるように、わかりやすく言い換えたり、書き換えたりした日本語のことです。

栃木県には 100 を超える国や地域から来た約 39,000 人 (H29 年末現在) の外国人が暮らしており、それぞれの母国語も様々で誰もがわかる共通する言語はありません。

「外国人には、外国語で話さなきゃ！」と思いがちですが、実際、多くの外国人住民の皆さんは生活の中で日本語を使っています。「やさしい日本語」で話すと、普段の日本語に比べてよく伝わります。

みんなが暮らしやすい、いざという時に助け合える社会となるよう、TIA では「やさしい日本語」を広めています。

「やさしい日本語」の具体例を紹介します。

＜いつもの日本語＞

「申し訳ありませんが、お電話いただけますか」

＜やさしい日本語＞
「電話してください」

＜ポイント！＞

- 難しい言葉は使わない
- できるだけ短い文で



「やさしい日本語」は外国人だけでなく、高齢者や子どもにも有効です。

また、相手に合わせてゆっくり話すことも必要です。一方的に話すのではなく、理解しているかどうか時々確認するとお互いに安心ですね。

広める取り組み① ロゴマークの普及

TIA は、外国人の皆さんが日本語で話しかけやすいように、「やさしい日本語」で対応する人や場所の目印としてロゴマークを作りました。ぜひこのマークを活用し、外国人と「やさしい日本語」でコミュニケーションしてください！

▲「やさしい日本語」ロゴマーク

広める取り組み② ハンドブックなどの作成

「やさしい日本語で話してみよう！」

(一橋大学 庵 功雄教授 監修)

日常生活の様々な場面 (イベントに誘う、道順を教える等) の「やさしい日本語」での会話例を紹介しています。

(A5 判 62 ページ)



「みんなでやさしい日本語！」

外国人にも「やさしい日本語」の取り組みを知ってもらうため、8か国語でリーフレットを発行しました。(A3 判両面)

広める取り組み③ セミナーなどの開催

日本人と外国人のワークショップやセミナー (本紙表紙・P3 参照)、また関係機関への研修会を実施しています。

「やさしい日本語」にご関心のある方は、お気軽に TIA までお問合せください！

※上記ロゴマークや刊行物は、TIA ホームページからダウンロードできます <http://tia21.or.jp>

とちぎに暮らして・・・ LIVING IN TOCHIGI...



ミカエル カクゾー さん
Michael Kaczor

フランス ナンシー市出身。
16 歳から日本のゲームやアニメに関心を持つ。現在はヴィラ・デ・マリアージュ宇都宮で、イベントコーディネーターなどを担当。

ー初めまして！カクゾーさんという名前が日本人みたいですね。

よく言われますが、もともと祖父がポーランド人なのでポーランドの苗字です。両親ともポーランド系なので家の中ではポーランド語を耳にすることは時々ありました。

ー日本に関心を持ったきっかけは何ですか。

私はゲームやアニメが大好きで、フランスではゲームを扱うお店を経営していました。16 才の頃からゲームを通して日本に関心を持ち始め、日本語も少しずつ勉強してきました。最初に観光で来日したのが 2000 年のときですが、それ以降の 15 年間で 35 回来日したんですよ。日本人の妻とは、東京で行われたゲームショーで知り合いました。

ーそれ以来、奥様と日本で暮らしているんですか。

いえ、ゲーム店の経営がありましたから、フランスで生

活していました。しかし東日本大震災後、家族のことを心配した妻が日本に一時帰国した際に、現在の職場である「ヴィラ・デ・マリアージュ」の運営会社とご縁があり、人生の転機かと思いきやこちらに来ることにしました。

ー現在は、どのようなお仕事をされていますか。

私の職場はブライダル関係ですが、「フランス」そのものをコンセプトに運営しているので、フランス人のインテリアコーディネーター、シェフ、ワイン畑のオーナーなどが来日した際の通訳やコー



▲一緒に働く奥様の美香さんと

ディネートを行っています。日本人とフランス人は言葉だけでなく、考え方、働き方なども違うので、そこも含めてまとめ上げて行きます。また、関心のある方にフランス文化の講座やフランスのチーズを広める活動もしています。

ー栃木県の暮らしはいかがですか。

東京に住んでいたこともあります。こちらの方が人とゆっくり付き合え、ストレスも少ない気がします。これからも栃木県で日本らしさを味わってみたいです。



TIA 県民外国語講座 とちぎ国際交流センター

**とちぎ・にっぽん・せかいで学ぶ
International News 英会話**

1月18日(木)～3月22日(木)

栃木県のローカルニュースや世界で起こっているワールドニュースを取り上げ、外国人講師やクラスメイトと英会話に親しみました。



▲アメリカ人講師のシェイ氏

アメリカ、イギリス、カナダ、フィリピンなど様々な国籍の講師が務め、話し方や考え方の違いも楽しみました。

はじめての台湾中国語

1月20日(土)～3月24日(土)

親日家が多く、近くて人気のある台湾。台北市出身の陳虹君(チェンホン チュン)氏が講師を務め、台湾で使われている繁体字、基礎的な発音、旅行会話や台湾文化を学びました。



▲楽しく丁寧な講師の陳氏

**日本語ボランティア情報交換会
「発話がはずむ教室づくり
～適切な題材と『質問力』が決めて!～」**

2月3日(土) とちぎ国際交流センター

外国人に日本語を教えるボランティアを対象とした情報交換会を実施し、県内各地から29名が参加しました。講師にアクラス日本語教育研究所代表理事の嶋田和子氏を迎え、日本語学習者がより話せるようになるための工夫について、参加者同士が意見を出し合いながら考えました。

OPI(口頭能力試験)の模擬インタビューの音声を聞き、学習者の話の引き出し方について学びました。また、ロールプレイの場面設定は、学習者の日常にすると生きた会話教材になるとの話がありました。



▲パワフルな講義を行う講師の嶋田氏

やさしい日本語セミナー

1月24日(金) 日光市中央公民館

日本語が得意でない外国人とのコミュニケーションに役立つ「やさしい日本語」を学ぶセミナーを日光市、日光市国際交流協会とともに実施し、日光市、宇都宮市から19名が



▲書き換えのワークを行う参加者(中央が講師の柳田氏)

参加しました。講師は一橋大学国際教育センター准教授の柳田直美氏。日本や栃木県、日光市の外国人住民の背景、「やさしい日本語」が活用される場面についての紹介のほか、外国人にとって読みやすい日本語文の作り方、伝わりやすい話し方についての講義がありました。グループワークでは、一般的な日本語の文を「やさしい日本語」の文に、話し合いながら書き換えを行いました。また、ある市役所の二人の窓口職員の外国人への対応映像を視聴し、それぞれの良い点、改善すべき点などについて外国人の視点に立って評価しました。

参加者からは「『やさしい日本語』は外国人と接する時に必要な知識だと思う」、「実践したい」との感想がありました。

**国際理解教育実践セミナー
「エシカル・ファッションで国際協力」**

2月10日(土) とちぎ国際交流センター

国際理解教育の担い手となる人材育成を目的とした「国際理解教育実践セミナー」をJICA 筑波との共催で実施し、教員、一般県民、大学生、高校生など20名が参加しました。

講師はかながわ開発教育センター事務局局長の木下理仁氏。今回のテーマである「エシカル・ファッション」とは、環境問題、労働問題、社会問題に配慮した、良識にかなった素材の選定や購入、生産、販売をしているファッションのことを指します。参加者は、インドのコットン生産現場の児童労働について考えるワークショップを通して、エシカルとは何かについて学びました。

アンケートでは、「自分の価値観が少し変わるきっかけとなった」、「授業を通して生徒たちに還元し、そこから国際協力につながっていければと思う」などの感想がありました。



▲コットン生産現場の児童労働について考える参加者(中央が講師の木下氏)



国際理解セミナー「ペルー知っペルー？」

1月27日(土) とちぎ国際交流センター

南米「ペルー共和国」をテーマにした国際理解セミナー「ペルー知っペルー？遠いようで身近な国ペルーの奥深い食文化」を JICA 筑波との共催で実施し、28名が参加しました。



▲パネルトークを行うアギーレ氏と仲尾推進員

講師は、ペルーにルーツを持つ宇都宮大学 2 年生のアギーレ・マリエル・ナルミ氏と、青年海外協力隊として2年間ペルーで活動した TIA 国際理解等推進員の仲尾 望が務め、前半は多様な自然や文化から生まれるペルー食文化の魅力を紹介し、後半は「文化の違いを超えて協力し合うためには」というテーマで、パネルトークを行いました。

また、アギーレ氏のお母様と仲尾推進員が作ったペルー料理「パパアラウンカイナ」(ジャガイモの黄色唐辛子ソースかけ)、「チチャモラーダ」(紫トウモロコシのジュース)を参加者に提供し、ペルーの音楽が流れる中、五感を通して「遠いようで身近な国」を体感していただきました。

一押し！ペルー料理「セビーチェ」



ペルーと聞くと、何をイメージしますか…？アンデス山脈の雲海に浮かぶ世界遺産マチュピチュや名曲「コンドルは飛んでいく」など、山のイメージが強いかもしれません。

▲シーフードマリネ「セビーチェ」 しかしペルーは太平洋に面し、その漁獲量は日本を上回るほど漁業が盛んです(H27 現在)。だからペルー人も魚料理が大好き！山やジャングルで暮らす人々も、湖やアマゾンで捕れる地魚を美味しいマリネ「セビーチェ」にして食べています。

☆「セビーチェ」の作り方☆

- ①薄くスライスした紫玉ねぎを水にさらしておく
 - ②刺身用の白身魚やマグロ、茹でイカを1cm角に切る
 - ③パクチーと生唐辛子(お好みで)を細かく刻む
- 水気をきり、①②③を一つのボールで和えて、ライム汁、塩、コショウで味付けしたら完成！

茹でトウモロコシやジャガイモを添えて、本場風な盛り付けを楽しんでみてください！！

JICA 情報局

JICA 教師海外研修報告会
～タンザニア・セネガル
研修・授業実践報告～

1月20日(土)、とちぎ国際交流センターにて JICA 筑波・栃木県国際交流協会共催『2017年度 JICA 教師海外研修報告会—先生の感じた世界を教室に!!—』を開催し、23名が参加しました。



JICA 教師海外研修とは、10日 ▲県教育委員会の熊木氏の報告程度の海外研修に参加し、自分の目で見て、集めた素材をもとに、授業に生かしていくものです。

今年度は、行政コース(セネガル)に栃木県教育委員会・熊木則裕氏が、教員コース(タンザニア)に佐野市立田沼小学校・河西麻里氏、野木町立野木小学校・菅原奈津子氏、益子町立田野小学校・小林怜史氏、宇都宮大学教育学部附属特別支援学校・神山陽啓氏の計5名が海外研修に参加しました。

報告会では、現地体験したことを、教室で生かす工夫が紹介・発表されました。授業を通じて児童の心の変化が伝わり、先生方のパワーも感じる時間となりました。

JICA 栃木デスクからのお知らせ

- JICA ボランティア春募集 開始！
募集期間：4月2日(月)～5月1日(火)
⇒募集に関する相談は、随時受け付けております。
- 2018年度 JICA 教師海外研修は4月募集予定です！
- JICA 筑波施設訪問(学校、市民団体等)も受付中
ご質問、お問い合わせはお気軽に！
【JICA 栃木デスク】 TEL028-621-0777

< T I A 携帯情報サービスのご案内 >

生活情報やイベント、防災について、携帯メールで配信しているサービスです。

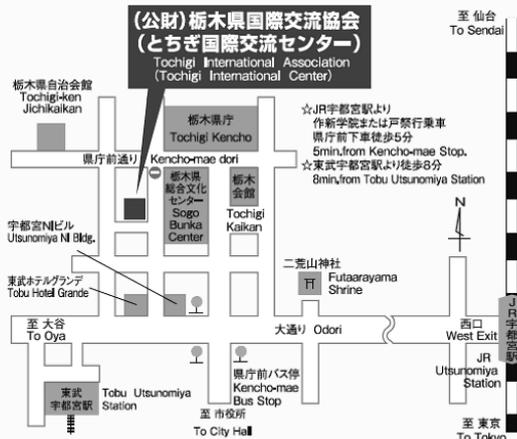
ぜひ、お知り合いの外国人にもお知らせください！登録は無料です。

☆希望する言語のアドレスに空メールを送ってください☆

- 英語 tia21eng@b.bme.jp ポルトガル語 tia21por@b.bme.jp
- 中国語 tia21chn@b.bme.jp スペイン語 tia21esp@b.bme.jp
- 日本語 tia21jpn@b.bme.jp やさしい日本語 tia21ysn@b.bme.jp

★PCからも登録できます★

T I A ご案内図



編集・発行 公益財団法人栃木県国際交流協会
住 所 〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
T E L 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)
F A X 028-621-0951
業 務 時 間 8:30～17:15
休 館 日 日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日